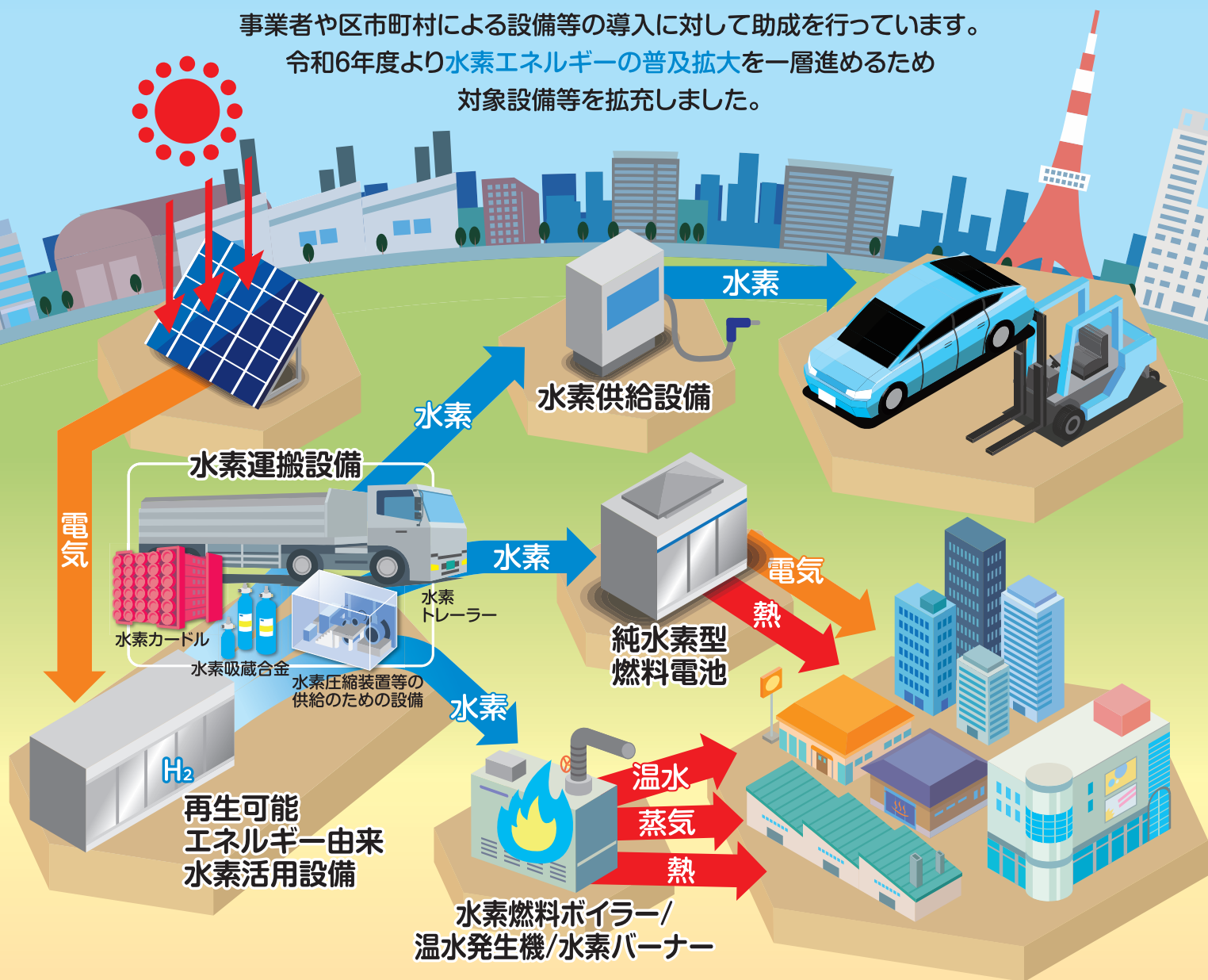


～東京都は、2050年グリーン水素の本格活用を目指しています～

再生可能エネルギー由来水素活用設備等の導入を東京都が支援します!

東京都は、脱炭素社会の柱となる再生可能エネルギー由来水素（グリーン水素）の活用を促進するため、事業者や区市町村による設備等の導入に対して助成を行っています。令和6年度より水素エネルギーの普及拡大を一層進めるため対象設備等を拡充しました。



再生可能エネルギー由来水素活用設備とは…

再生可能エネルギーで発電した電気で水素を製造し、その製造された水素を燃料電池自動車や純水素型燃料電池、水素燃料ボイラー等に供給する設備です。設備の導入により、災害時等の事業継続にも貢献します。



公益財団法人 東京都環境公社
(東京都地球温暖化防止活動推進センター)



再エネ由来水素の本格活用を見据えた設備等 導入促進事業

助成対象者

都内に事業所又は事務所を有する民間事業者、区市町村等都内の地方公共団体

助成条件

- ①補助対象設備を都内（再生可能エネルギー由来水素活用設備は都外も可）の事業所等において新たに設置すること。
- ②再生可能エネルギー由来水素や水素を利用する機器に関する普及啓発を実施すること。

※補助要件に関する詳細は事業のホームページや手引き等をご確認ください。

補助対象設備	補助率	上限額	補助対象経費	
再生可能エネルギー由来水素活用設備				
都内	対象経費の 1/2 ^{*1}	3億7,000万円 (5Nm ³ /h超 ^{*2}) 1億円 (5Nm ³ /h以下 ^{*2})	設計費 設備費 工事費 諸経費	
New 都外		3億7,000万円 (10Nm ³ /h以上 ^{*2}) ・東京電力管内に限る。 ・都内に製造量の1/2以上を供給		
水素利用設備				
純水素型燃料電池	対象経費の 2/3 ^{*1}	8,700万円/台 (3.5kW超 ^{*3}) 1,600万円/台 (3.5kW以下 ^{*3})		
上限額の引き上げ 水素燃料ボイラー		6,300万円/台 (1,000kg/h超 ^{*4}) 5,100万円/台 (1,000kg/h以下 ^{*4})		
New 温水発生機		4,300万円/台		
New 水素バーナー		5,600万円/台		
New 水素運搬設備	※取り扱う水素は、原則、再生可能エネルギー由来水素であること。			
水素カードル	対象経費の 2/3 ^{*1}	300万円/台 (1Nm ³ あたり1万円)		
水素トレーラー		3,000万円/台 (1Nm ³ あたり1万円)		
水素吸蔵合金		6,400万円 (1Nm ³ あたり14万円)		
水素圧縮装置等の 供給のための設備		6,300万円		

(※1)国補助併給時には、国補助額を控除、(※2)製造能力、(※3)定格発電出力、(※4)相当蒸発量

事業 実施年度

令和3年度～令和7年度の期間において、助成金申請を受け付けます。
令和7年12月26日までに工事を完了するものが対象となります。
※申請の受付は年度ごとに行います。

詳しくは、クール・ネット東京ホームページをご覧ください。

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/3_7hydrogen_recycle

●お問合せ先

東京都地球温暖化防止活動推進センター 事業支援チーム

(クール・ネット東京)

〒163-0817 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル17階

電話 **03-5990-5089**

受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く)
9:00～17:00(12:00～13:00を除く)



クール・ネット東京



リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。